

消費生活アドバイザー資格 仕事・活動・日常生活での役立ちアンケート集計結果

2023年7月に、消費生活アドバイザー資格や資格を通しての学習内容などが、皆様のお仕事や活動、日常生活の場面等で役に立っているかどうかについてアンケートを実施いたしました。764名の方より回答いただきましたアンケート集計結果をご報告いたします。

・アンケートにご回答いただいた764名の内訳

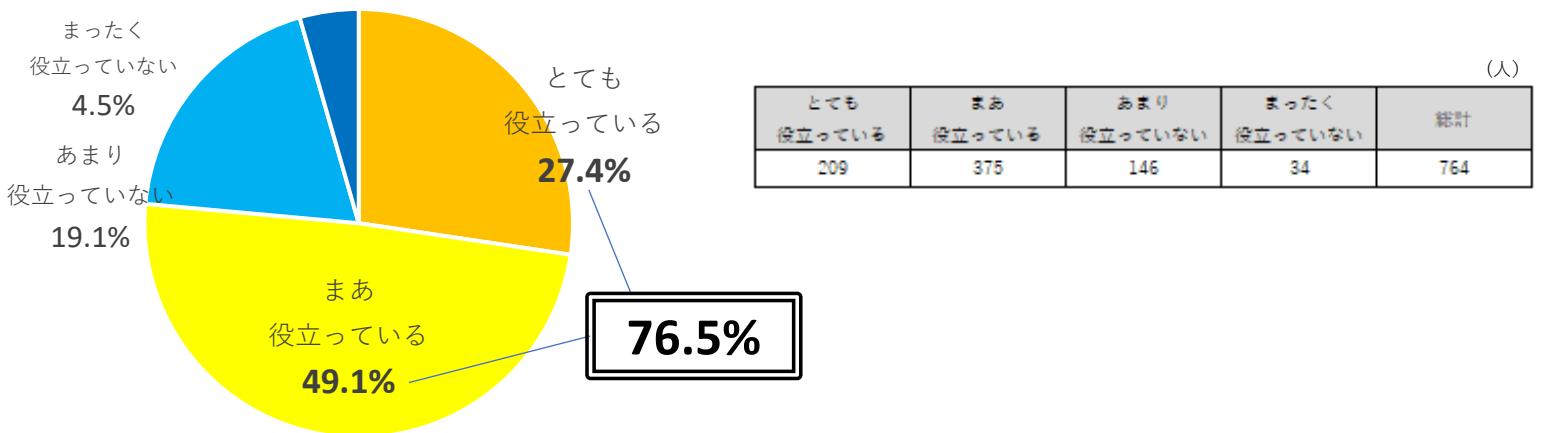
| 年代 (人) | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-------|-----|
| 20～30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 | 総計 |
| 21 | 64 | 325 | 274 | 80 | 764 |

| 所属先 (人) | | | | | | | | | | | |
|----------|-------|-------------------|-----|-------|------|-------|------|--------|---------|----|-----|
| 国・地方公共団体 | 所属先なし | 金融・保険業 (その他含む) | 製造業 | サービス業 | 各種団体 | 卸・小売業 | 公益事業 | 運輸・通信業 | 建設・不動産業 | 学生 | 総計 |
| 185 | 127 | 117 | 109 | 85 | 53 | 38 | 19 | 17 | 11 | 3 | 764 |

アンケート内容

Q：消費生活アドバイザー資格や学習内容は仕事や活動、生活などで役に立っていますか

76.5%の方々より「とても役立っている」「まあ役立っている」の回答をいただきました



Q：「とても役立っている」「まあ役立っている」とご回答の方に伺います。どのような場面や内容で役に立っていますか（複数回答）
18項目をカテゴリーで区分し、回答数が多かった項目順に表示しています（N=584）

●「所属先」で役に立っている内容・場面

| 役立ち内容 | 回答数 | 割合 |
|----------|-----|-------|
| スキルアップ | 273 | 46.7% |
| 転職・就職 | 96 | 16.4% |
| セカンドキャリア | 95 | 16.3% |
| キャリアアップ | 84 | 14.4% |
| 副業・起業 | 28 | 4.8% |
| 企業の役員 | 19 | 3.3% |
| 大学等での教育者 | 14 | 2.4% |

●「所属先以外」で役に立っている内容・場面

| 役立ち内容 | 回答数 | 割合 |
|-----------|-----|-------|
| 消費者教育 | 86 | 14.7% |
| 消費者団体活動 | 84 | 14.4% |
| NPO活動 | 75 | 12.8% |
| 地域社会活動 | 72 | 12.3% |
| 審議会委員 | 31 | 5.3% |
| 福祉分野 | 22 | 3.8% |
| 見守りネットワーク | 18 | 3.1% |
| 調停委員 | 11 | 1.9% |

●「日常生活」で役に立っている内容・場面

| 役立ち内容 | 回答数 | 割合 |
|---------|-----|-------|
| 自己啓発 | 319 | 54.6% |
| 新たな興味関心 | 241 | 41.3% |
| アドバイス | 145 | 24.8% |

Q: 「とても役立っている」「まあ役立っている」方の具体的な事例を教えてください

回答数が80以上の各項目よりコメントの一部をご紹介します

●「所属先」で役に立っている内容・場面

・スキルアップ（製造業/60代）

社内で発生する多くの事象（相談室、商品クレーム、商品設計、商品表示、広告宣伝、ホームページ）において消費生活アドバイザーの知識がベースとなり役に立っています。

・スキルアップ（製造業/60代）

資格は、所属している会社での製品安全性評価の推進に役立っています。特に、取扱説明書等の製品表示作成を支援し、取扱説明書等の作成ガイドや完成度チェックリストを作成し、関係部署での活用を広げつつあります。

・転職・就職（各種団体/60代）

30代で消費生活アドバイザーを取得したことで再就職してから、既に20年以上経過している。現在の職場は、55歳で転職した5つ目の職場で、金融庁指定のADR機関である。68歳までフルタイムで勤務できる職に恵まれたのは、消費生活アドバイザーを取得したおかげだと思っている。ADR機関でフルタイムをしながら、職場に許可をもらって、大学での非常勤講師、金融関係の団体のインストラクターとしての仕事もしているが、消費生活アドバイザーの資格を取得する前に、60代の今の自分の姿は全く想像していなかった。20年以上前に、資格取得をしたことで、その後の仕事人生が大きく変わったと感じている。

・セカンドキャリア（金融・保険業（その他含む）/70代）

定年後、人生の終盤になっても社会とのつながりができている。例えば、地域の町役場で消費生活相談員を務めることができ、各地の消費者団体とのつながりの中でアップデートな情報に触れることができている。そのようなことが、私のライフワークとも言える大きな生きがいの一つに繋がっていると思う。

・キャリアアップ（製造業/50代）

職場の全社プロジェクトに応募する際、資格を持っていることで手を挙げやすくなった。参加後も、取得時の知識や資格者からの情報を社内で活かすことができた。

●「所属先以外」で役に立っている内容・場面

・消費者教育（各種団体/60代）

専業主婦だった私が、資格取得後、すぐに消センの勤務が決まり、以来16年相談員として勤務できました。退職後は県の委託を受け、消費者教育の講師としていろいろな学校で出前講座をしています。資格と相談員の経験が生きています。

・消費者団体活動（所属先なし/40代）

資格を取る前に個人で勉強していた時よりも、専門的な話を聞く機会ができた(資格の継続講習、NACSの講習会、NACSを通じた他の団体主催の講習会など)。資格を取る前よりも、身近に起こる問題を、総合的な観点から考えることができるようになったと思う。

●「日常生活」で役に立っている内容・場面

・自己啓発（各種団体/60代）

一番大きいのは、情報に対する感度が以前と違う事です。社会問題のニュースを聞いても単に起きている事象を知るだけでなく、其の背景にある要因等に思いを巡らせる事が出来る。

・新たな興味関心（製造業/70代）

名刺に「消費生活アドバイザー」を入れており、自分自身が常に新しい知識更新をしていく為の戒めと、全てを消費者目線で考えることの重要性認識を名刺を見るたびに確認しています。また、名刺交換するとお相手の方より当資格の内容などを聞かれますので、有資格者が社会の中でどのような役目を果たしていくべきか等をお互いに話しができるよいチャンスになっています。

・アドバイス（国・地方公共団体/70代）

現在高齢者相談に乗っているが、アドバイザーの資格があることが役立った。葬儀や墓じまいなどの情報を講座で学んだことがアドバイスするときの役に立っている。

今後、役立ちアンケート結果の詳細を公表して参ります。